

令和6年度北見工業大学後援会
「KIT げんき会」総会資料

日 時：令和6年7月12日（金） 14：45～

場 所：北見工業大学 多目的講義室

目 次

| | |
|------------------------|----|
| 1. 議事次第 | 1 |
| 2. 令和6年度役員名簿(案) | 2 |
| 3. 令和5年度事業実施報告書 | 3 |
| ・ 学生に対する支援 | |
| (1) 語学研修プログラム参加旅費の助成 | 4 |
| (2) 協定校へ留学する学生の生活費の助成 | 15 |
| (3) インターナショナルCアワー開催の助成 | 30 |
| (4) 留学生交流イベントの助成 | 32 |
| (5) 就職支援助成 | 34 |
| (6) 学生表彰 | 36 |
| (7) 学生向け電子ブック購入の助成 | 37 |
| ・ 大学広報等への支援 | |
| (1) 女満別空港広告看板掲出料の助成 | 39 |
| ・ 北見ぼんちまつり参加への支援 | |
| (1) 北見ぼんちまつり参加への助成 | 40 |
| 4. 令和5年度決算書 | 41 |
| 5. 監査報告書 | 42 |
| 6. 令和6年度事業計画書(案) | 43 |
| 7. 令和6年度予算書(案) | 44 |
| 8. 規約 | 45 |
| 9. 令和5年度KITげんき会法人会員名簿 | 47 |

議 事 次 第

1. 開会

2. 挨拶

(1) 北見工業大学後援会「KIT げんき会」会長

(2) 北見工業大学長

(3) 北見市長

3. 議事

(1) 役員の一部改選について

(2) 令和5年度事業報告、決算報告について

(3) 令和6年度事業計画（案）、収支予算（案）について

(4) その他

4. 閉会

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和6年度役員名簿（案）

- 顧問 辻 直 孝（北見市長）
" 榮 坂 俊 雄（北見工業大学学長）
- 会 長 舛 川 誠（オホーツク商工会議所協議会会長・北見商工会議所会頭）
- 副 会 長 林 正 道（北見鉄工協同組合理事長）
" 渡 部 徳 章（北見商工会議所中小企業委員会委員長）
" 大 坪 広 則（きたみらい農業協同組合代表理事組合長）
" 吉 田 茂 夫（北見医師会会長）
" 橘 邦 彦（北見工業大学同窓会顧問）
- 常務理事 村 田 美 樹（北見工業大学副学長）
- 理 事 森 山 雅 史（北見歯科医師団団長）
" 木 村 眞 吾（北見ぼらんち会会長）
" 田 村 友 朗（北海道中小企業家同友会オホーツク支部支部長）
" 片 山 隆 文（北見信用金庫理事長）
" 河 合 昭 徳（日本自動車販売協会連合会北見支部支部長）
" 篠 尾 和 孝（北見舗装協会会長）
" 福 井 美 砂（北見薬剤師会会長）
" 辻 好 治（北見市観光協会代表理事）
" 内 海 和 彦（北見測量設計協会会長）
" 永 田 裕 一（北見物産協会会長）
" 五 十 嵐 龍（北見建設業協会会長）
" 中 地 大 介（北見金融協会会長）
" 増 田 悦 郎（北海道獣医師会オホーツク支部支部長）
" 真 柳 正 裕（北見市商店街振興組合連合会理事長）
- 監 事 小 澤 實之郎（日本赤十字社北見市有功会相談役）
" 有 田 敏 彦（北見工業大学同窓会長）

（順不同：敬称略）

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和5年度事業実施報告書

| 事 業 | 摘 要 |
|-------------------|--|
| 1 会 議 | |
| 1) 総 会 | 令和5年7月25（火）開催 |
| 2 支援事業 | |
| 1) 学生に対する支援 | <p>語学研修プログラム参加旅費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュージーランド×2人 ・台湾×8人 ・カナダ×1人 <p>協定校へ留学する学生の生活費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポーランド（クラクフ工業大学）×2人 ・フィンランド（オウル総合科学大学）×3人 ・フィンランド（ヴァーサ工業大学）×1人 <p>留学生派遣の助成 （地域の各種団体等への留学生の派遣） ※令和5年度は実績なし</p> <p>インターナショナルCアワー開催の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計16回開催 <p>留学生交流イベントの助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年2月15日（木）開催 <p>就職支援助成（地元企業合同セミナー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年1月26日（金）開催 <p>学生表彰</p> <p>学生向け電子ブック購入の助成</p> |
| 2) 大学広報等への支援 | 女満別空港広告看板掲出料の助成 |
| 3) 北見ぼんちまつり参加への支援 | 北見ぼんちまつり参加者への助成 |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（台湾）

2 事業の概要

(1) 研修先

中国医薬大学（台湾・台中市）

(2) 研修期間

令和5年12月23日（土）～令和5年12月28日（木）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

| | |
|--|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・1年 |
| 氏名 | 長田 草佑 |
| 報告 ※本研修により得た 成果について400 字程度で記入 | 今回の研修において私が得た目に見えた成果は、言葉が通じない中で、何とか意思を伝えようとする粘り強さを少し手に入れたことです。中国語が拙い自分にとって、最も意思を伝えやすいのはもちろん日本語で、その次に英語です。ごく少数の店員・屋台の店主・学生は日本語で意思・金額・数量・その他情報が伝わりましたが、大抵の買い物、会話において多用したのは、英語でした、自分の中国語の学習不足を痛感するとともに、普段は会話で使うことのない英語での人に伝える努力をある程度することになりました。勿論現地の言葉を習得することは、円滑なコミュニケーションにおいて必要不可欠であることは確かですが、自分の話せる言葉で何とか相手に意思表示をする努力というのもまたとても大事な能力であることに気付きました。次の夏季休暇には、一人で海外旅行に行くことを計画しています。どの国に行くことになっても、今回得た少しの粘り強さを生かすべく、より文化・コミュニケーションにおいて |

| | |
|---|---|
| | <p>の対応力を磨いていきたいと考えています。今回の研修は、海外渡航が初でさらに次を考えている自分にとってとても有意義で楽しく、次への足掛かりになりました。最後に、台湾で出会った数人の学生は、語学・学校生活においてもかなり見習うべきことが多いように感じたので、同級生・先輩に限らず見習って日々努力しようと思います。</p> |
| <p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞</p> | <p>今回の研修に自分で稼いだ資金で参加しようとしていた自分にとって、助成金というのはとても助かるものです。さらに昨今の円安が大きく影響する海外研修での助成金には本当に感謝しています。貴重な経験をありがとうございました。</p> |

| | |
|---|---|
| 所属学科・学年 | 地域環境工学科・1年 |
| 氏名 | 開沼 佳祐 |
| <p>報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入</p> | <p>私は北見工業大学に入学し、台湾へ留学すると心に決めていたので本研修に参加しました。今回の研修は中国語語学研修でしたので、中国語を話すという事しか考えずに台湾へ行きました。私は以前、台湾研修をしたこともあり元々、中国医薬大学や台中、台北に友人がいたので、その友人と中国語でコミュニケーションを図りながら中国語を学んでいました。</p> <p>私の研修は台湾研修の前日に宿泊した、千歳のホテルの受付や温泉の受付で中国語対応されたところから始まりました。そこで使った中国語が伝わったときは感動しました。台湾研修当日の飛行機の中では自分の中国語能力をより極めるために隣の席の台湾の方に協力してもらい発音を教えてもらっていました。この調子で中国医薬大学のチューターさんと話そうと思っていました。しかしチューターさんの日本語が流暢すぎて、日本語での会話がメインとなり、中国語での会話はたまにするという感じでチューターさんと一緒にいるときは観光がメインになってしまいました。私は語学研修をメインとして本研修に参加したのですがチューターさんとの視察はとても楽しかったです。チューターさんとお別れの時、私は深い寂しさを覚えました。</p> <p>今回の経験から私は言語理解が大切だと思いました。これからの大学生活は中国語学習に勤しみます。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p> | <p>この度は、台湾研修の助成をしていただきありがとうございました。中国医薬大学の学生さんとの交流を通してたくさんの中国語を学びました。これからの大学生活では、今回学び得た中国語能力を生かしていきたいと思います。</p> |
|---|--|

| | |
|---|--|
| <p>所属学科・学年</p> | <p>地域未来デザイン工学科・1年</p> |
| <p>氏 名</p> | <p>近藤 優斗</p> |
| <p>報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p> | <p>私が今回の台湾研修に参加した理由は、新しいことに挑戦をしたいという思いと、海外文化への興味があったからです。研修の中で気づいたのは、日本製品の多さです。コンビニやドラッグストアには多くの日本製の物があり、改めて日本製品の良さを実感しました。また、街中で見るバイクの数が異常に多かったです。日本と比べて道が狭いのか、歩行者通路ギリギリを通るバイクが多くて驚きました。私は中国語を履修しているため、少しの中国語なら話せると思っていましたが、意外と現地の方とのコミュニケーションは難しく、思っていた言葉が出なかったり、発音が違っていたのか言葉が通じなかったりと苦労しました。しかし、現地の方々はとても優しく、英語で対応してくださったり、お店によっては日本語で対応してくれるところもありました。</p> <p>今回の研修で、台湾について深く知ると共に、台湾独自の文化や、日本との文化の違いについて学ぶことが出来ました。また、もっと海外文化を知りたいと思うきっかけにもなりました。次に海外に行く際には、もっと上手くコミュニケーションができるよう、これからも語学の勉強をし続けていきたいと思えます。</p> |
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p> | <p>この度はKITげんき会様より語学研修の助成をしていただきありがとうございました。今回の研修に参加することができて本当に良かったです。このような貴重な経験から学んだことを、今後の大学生活でも活かしていきたいです。本当にありがとうございました。</p> |

| | |
|-------------------------------------|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・1年 |
| 氏名 | 萩原 琴美 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | <p>私は大学在学中に様々な国へ行き日本との違いを自分の五感で感じたいと思っています。台湾研修に参加したいと思ったのはその思いがあったためです。私に付いてくれた台湾のチューターさんは日本語がとても上手でしたので大半は日本語で会話をしました。会話が通じないときは英語で話してくれましたが、私は英語を聞き取れる力がなかったのでスマホの翻訳機を使いました。お店の店員も中国語が伝わらないと英語で話し、それも伝わらないと翻訳機で日本語に変換という感じでした。英語の習得が必要だと感じました。今後は英語の勉強に力を入れようと思えました。日本語が話せる店員さんがいる店もあるのでそこは安心できました。</p> <p>日本になじみのあるチェーン店があったり、日本産の商品が置いてあったりしました。夜市は屋台が多く並んでいてお祭りのようでした。夜でも老若男女問わず多くの人がいきました。日本に近くても文化の違いや食事、建物の違いなど毎日が新鮮でした。</p> |
| 謝辞 ※本助成を受けたことに対するK I Tげんき会会員への謝辞 | <p>この度は助成金をいただきありがとうございました。台湾の学生さんと交流したり、様々な場所に行ったり私にとって貴重な体験となりました。助成金のおかげで台湾の学びを家族、友人にお土産とともに伝えることが出来ました。学んだことを生かし今後の国際交流に繋がればいいと思います。</p> |

| | |
|--------------------------------|--|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・1年 |
| 氏名 | 竹本 日愛 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | <p>私が今回の語学研修に参加した理由は、大学在学中に様々な体験をしたいと考えていたためです。また、現在中国語を履修しており、中国語に対して面白みを感じていたためです。しかし、つたない中国語しか話すことができなかつたのですが、英語や日本語などで、相手に伝わるような感覚を感じることができました。その経験が、今後ほかの言語を学んでいく一つの糧になりました。また、現地の建物はとても興味深かったです。今回の研修では、都市部を回ることが多く、特に台中ではでは</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>デザイン豊かなものを多く見るが多かったです。研修に行った時期が、クリスマスが近かったため、ツリーがたくさん飾ってあったのですが、日本とは違い、一つ一つのクオリティが高い印象を受けました。また、台湾自身が発展途上国であり、日本と一風変わった景色を見ることもあり面白く感じました。現代では、調べればいろいろなものが見ることの世界ですが、体感しないと分からないことも多くあることが分かりました。</p> |
| <p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞</p> | <p>この度は助成金をいただきありがとうございました。本研修を通して、多くの経験をさせていただくことができました。今回の研修で日々の勉学の意欲が増す機会でもありました。日本では、体験することのできないような様々ことを経験することができ、視野が広がったように感じます。最後に改めて、本研修に対するご支援、本当にありがとうございました。</p> |

| | |
|---|---|
| 所属学科・学年 | 地球環境工学科・2年 |
| 氏 名 | 北村 晃基 |
| <p>報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入</p> | <p>本研修では、現地の台湾の学生がチューターとして、一緒に台湾の視察を行いました。母国語が異なり、伝えたいことが上手く伝わらないことは多少ありましたが、コミュニケーションを通じて、現地の学生と交流を深めながら散策できました。台湾に住む方との交流を通して、住んでいる環境や文化は違いますが、趣味や、見たもの、行ったことに対してどう感じたか、どう思ったかなど、共通する点や共感できる部分があり、国が違っても、今までで学んできた日本での人とのかかわり方や道徳などが通用することが感じられました。日本とは異なる点が多くあり、例えば水道水が飲料水として使用できないことや、トイレではトイレトペーパーが流せないところがほとんどであること、また、日本語が通じなかったため店で注文する際や、交通機関を利用する際には苦労しました。海外に行く際には、現地ならではのマナーや文化、ルールなどの下調べが重要であると気付きました。様々な刺激が受けられ、よい経験になりました。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞</p> | <p>この度は助成金をいただきありがとうございました。今回の短期研修においてお力添えをいただけたことを深く感謝いたします。円安ということもあり、大変助かりました。今後大学生活を送るうえで、研修で学んだことを生かしていきたいと思えます。この度は本当にありがとうございました。</p> |
|---|--|

| | |
|---|--|
| <p>所属学科・学年</p> | <p>地球環境工学科・2年</p> |
| <p>氏 名</p> | <p>橘 隆斗</p> |
| <p>報 告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入</p> | <p>私は今回の語学研修で初めて海外へ行きました。初めての海外ということもあり不安もありましたが、実際現地に到着すると食べ物、景色など日本では体験できないことを多く体験できてとても良い経験となりました。台湾の学生さんたちと交流していく中で普段話している言語は全く違いますが英語を中心に会話を膨らますことができ台湾の文化をはじめ趣味や日常会話など交流することができました。</p> <p>また、台湾の方たちは日本語を話せる人が多く驚きました。有名な観光地である九分では日本語で接客していただきました。日本人の観光客も多く、日本との繋がりを実感しました。日本の飲食店も多くあり、台北市の日本企業の飲食店に入りましたが店内の雰囲気やメニューまでほとんどが日本のものと同じでした。</p> <p>今回の研修で海外に対する興味がより一層増し、今後も留学生との交流や海外研修へ積極的に参加したいです。また、英語や中国語の勉強に力を入れるきっかけとなりました。今回はチューターさんに頼っていた部分がありますが、一人でも不自由なく行動できるような語学力を身に付けたいと思いました。</p> |
| <p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞</p> | <p>この度は助成金をいただきありがとうございました。今回の経験は自分にとって大きな経験であり、大学生活や今後の人生の大きな糧となりました。今回の経験を今後海外の方との交流に生かし、国際交流を発展させたいです。</p> |

| | |
|---|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・4年 |
| 氏 名 | 西川 宗一郎 |
| <p style="text-align: center;">報 告</p> <p>※本研修により得た成果について400字程度で記入</p> | <p>私が今回語学研修に参加した理由は、今まで行く機会がなかった海外へ行ってみたかったためと今の自分が海外でどれだけ現地の方々とコミュニケーションを取ることが出来るか試してみたかったからです。人生初の海外であったためとても緊張しましたが、現地の方々との交流はとても新鮮でとてもいい経験になりました。また、本場の中国語にも多く触れ、初めのうちはうまく聞き取れませんでしたでしたが、日数を重ねるうちに簡単な言葉なら聞き取れるようになりました。また、現地の方々と英語を用いて道を聞いたり、質問をしたりすることが出来たため、自分がこれまで学んできた英語が無駄でなかった事を感じることが出来ました。</p> <p>言語以外にも台湾では多くの事に触れ学ぶことが出来ました。台湾のものを食べたり、景色を見たりととてもいい経験になりましたが、地下鉄の入り口等に防空シェルターと書かれた案内を見た時は、改めてここが最前線であるという事を理解しました。</p> <p>今回の研修では言語に限らず多くの事を学ぶことが出来ました。この体験を忘れずにこれからの人生に活かしていこうと思います。</p> |
| <p style="text-align: center;">謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p> | <p>この度は5万円という多額の助成金をありがとうございました。KITげんき会の皆様のおかげで、多くの事を台湾にて学ぶことが出来ました。また、多くの楽しい思い出も得ることが出来ました。この経験を少しでも今後の人生に活かしていこうと思います。改めて本研修に対するご支援、誠にありがとうございました。</p> |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（ニュージーランド）

2 事業概要

(1) 研修先

ネルソンマルボーロ工科大学

(2) 研修期間

令和6年2月19日（月）～2月23日（金）

(3) 助成対象・金額

5万円

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・1年 |
| 氏名 | 永野智子 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | 今回の5日間はあるという間でありながら、非常に濃かったように感じます。日本から外へ出たことが無かった自分にとって毎日が新しい発見と出会いに溢れておりとても新鮮で充実した時間でした。学校では英語の授業を受けましたが、英語に留まらない科目の学びがあったり、自分の意見を伝える能力や質問する能力がもとめられたりと日本の授業様式とはことなる点がたくさんありました。また他の留学生との関わりを通して各国の情勢や文化、違いなどについて考えることができ、普段ニュースや記事などで転がっているありきたりな言葉でなく自分の肌で感じた事を自分の言葉で消化することができました。他を知ることによって改めて自分を知ることができ、自分に足りない物や、反対に長所などを今までとは違った視点から再認識できました。この5日間は嬉しかったことも楽しかったことも悔しかったこともたくさんありましたが、これらのすべてを今後の成長の糧にしていきたいとおも |

| | |
|--|---|
| | います。そしてより広い世界を知り多角的な視点を持ち柔軟な人間になれるよう努めていきたいです。 |
| 謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞 | 今回の経験は自分にとってたくさんの学びと成長、また今後の将来像を考える上での大きな影響をもたらしてくれました。このような経験ができることは決して当たり前ではなく様々な方の支えがあってからこそだと改めて思います。皆さんからの支えがあって得ることができたものを今度は誰かの支えとして還元できるように精一杯努めていきたいと思います。 |

| | |
|--|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・2年 |
| 氏 名 | 吉田 莉琉 |
| 報 告 ※本研修により得た成 果について400字程 度で記入 | <p>私は今回の語学研修を通して、様々な面で成長することができました。特に、英語で会話する面での成長、積極性や主体性の面での成長が大きいと感じています。一日中どこでも英語を耳にする環境下で、最初は聞き取ることのできなかつた英語も慣れて聞き取ることができるようになりました。店員さんや町中で声をかけてくださる人とも軽いコミュニケーションを取ることができるようになりました。学校では日本の授業風景とは違い、生徒が思ったこと、考えたことを先生に当てられなくても積極的に答えている姿にとても衝撃を受けました。間違いを恐れずに、「英語上達するぞ」という強い意志が感じられる授業態度に影響され、私も積極的に発言し、クラスメイトに話しかけるように心がけました。</p> <p>クラスには様々な国籍の方が在籍していて、その方々が英語を勉強している背景、その国で起きていることを聞く機会がありました。これにより、戦争や日本とは違う文化について考える良い機会を得ることができました。</p> <p>これからももっと他の国の文化に触れ理解を深めるため、英語の勉強をより一層頑張っていきたいと考えています。</p> |
| 謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞 | 今回はこのような貴重な経験をさせて頂きありがとうございます。今回の経験を生かし、たくさんの日本人に異文化の良さを、たくさんの外国人に日本文化の良さを伝えていければなと思っています。今回は本当にありがとうございました。 |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

語学研修プログラム参加旅費の助成（カナダ）

2 事業概要

(1) 研修先

カモソン大学

(2) 研修期間

令和6年2月26日（月）～令和6年3月8日（金）

(3) 助成対象・金額

8万円

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|--|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科・4年 |
| 氏名 | 若山 隼 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | <p>今回の研修を通じて、日本語が分からない方との意思疎通の仕方、食事の違いについて学べたと考えております。また今回の研修では、岩手県の盛岡大学の方と過ごす時間が長いこともあり、他学部の方の話も聞くことが出来ました。</p> <p>今回の研修の講義では、プレゼンの仕方や手紙の書き方、ことわざなどを教わりましたがその中でも発音の講義が印象的でした。日本では、発音について学ぶことはありませんでした。発音がカタカナに近い状況の為、日本語が分からない方との会話は苦労しました。英語でのやり取りをしやすい為には、単語や文法だけではなく発音についても学ぶ必要があると思いました。</p> <p>食事も日本と違うところがありました。日本でリンゴを食べる時、食べやすい大きさに切ってから食べると思います。それに対してカナダでは、皮ごと食べるのが主流でした。他にもイモ類が出ることが多いなど、違いがありました。</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>本研修を通じて、英語の語学力だけではなく、文化の違いに対応する能力も必要だと思いました。</p> |
| <p>謝 辞 ※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p> | <p>この度貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございます。今回の経験は、今後の大学生活を送る上での参考にしていきたいと考えております。助成金を支給して下さるKITげんき会会員の皆様に、敬意を評し感謝申し上げます。</p> <p>また本研修を行うにあたり本学の国際交流センターの方、CAMOSUN COLLEGE 及び盛岡大学の関係者の方に感謝申し上げます。</p> |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費の助成（ポーランド）

2 事業概要

(1) 留学先

クラクフ工業大学（ポーランド）

(2) 留学期間

令和5年2月27日（月）～ 令和6年2月15日（木）

(3) 助成金額

68,000円

※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給する。

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|--|
| 所属学科・学年 | 地球環境工学科・4年 |
| 氏名 | 吉田 敬子 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | <p>① 今学期の履修科目は、以下の通りです。</p> <p>CAD1 Landscape Architecture Road surfaces and technology of road constructions Project2(Introduction to Architecture and Urban Design)</p> <p>Project2 は、校内の中庭に学生や教員が利用する作業・カフェ空間、建築模型展示空間を要したパビリオンの内装、外装とその周辺をデザインする科目です。そのパビリオンの図面や 3D モデルを設計する上で必要なのが ArchiCAD です。日本の大学の専攻分野は交通工学のため、これまで CAD を使用して何か設計するという経験がありませんでした。また、この科目は昨年 10 月から 1 年間を通して開講されているため半年分のブランクを巻き返す必要がありました。空いている時間は CAD の動作手順を覚えたり、友人にアドバイスをもらいながら、頭の中に描いているアイデアを CAD である程度建築デザインに翻訳出来るまでになりました。今後はその応用的な技術の習得とそれを短時間で動作が出来るようにすることが次のミッションとなりました。作成途中ですが、現時点での設計構想全体図を共有さ</p> |

せていただきます。

②

1. 学業編

交通工学ではポーランド規定での道路設計方法を学び、実際に自身で高速道路や自動車道を支持力など考慮しながらデザインしました。ポーランドと日本の道路設計方法の相違点の他に、交換留学生それぞれの国の規定も知り、それが最終的に文化や社会、気候や地形的な違いと繋がることに気づけたことで視野が広がったような気がします。

2. 生活編

様々な国籍の留学生と関わる中で一番刺激を受けたのは「より多く一緒に何かを共有するということ」です。例えば、だれかのご飯やどこかに行ったりするときに、ヨーロッパ出身の子は友人や兄弟と一緒に連れてくるのがよくあります。日本にいるときはよりクローズドな関係で友人を交流していたため、最初はこの開けた関わりに少し疲弊した時もありました。しかし、その分思いもよらぬところでよく馬が合う人とであったりすることができ大変良い機会になりました。

③

留学生活の八ヶ月目に突入し、1年前の自分と比べると日常における英語力が上がったなと感じます。以前は頭の中で英文を整理してから話していたので、かなりそれで体力を奪われていたのですが、最近は日常会話においては自然と英語が口から出てくるようになりました。もちろん、まだ一度で理解ができないときなどもまだあるので言語の道のりは程遠いですが、日本に帰国するまでもっと自分の英語に自信持てるように継続して頑張りたいです。

また、夏休みの期間を利用して建築コンペに参加しました。作品を作る過程で建築の知識はもちろん、スケジュール管理のや様々な人に意見をいただくことの大切さを身にしみて実感しました。この建築コンペから得られたことを今学期のスタジオデザインプロジェクトでも活かしてよりよい作品づくりをしたいです。

④

留学生活も10ヶ月が経過し、ポーランドでの滞在は残り約2ヶ月となりました。建築学の勉強において、スケッチや建築CADでの設計、建築設計のアプローチの仕方などは右も左もわからなかった留学当初に比べて、スキルが身につく、今では現地学生の共にお互いの設計プロジェクトについて意見を出し合えるまでになりました。春学期の頃は友人に教えてもらうことのほうが多かったのですが、今同じ土俵に立てていることを肌で実感できるのが嬉しく思います。

また、留学先での建築学を勉強することでヨーロッパ旅行の際に、今までは食べ物や言語、文化から各国の特徴を捉えていたのですが、現在は建物の設計方法(特に住宅窓の違い)や建築と都市との関係性という視点からもそれぞれの国の特徴や違いを感じ、またそれらを共有し合える友人もでき、さらに建築が好きになりました。

| | |
|--|--|
| | <p>残り少ない留学生活でも大学での勉学や日常生活、旅行などでさらに新しい発見を吸収したいです。</p> <p>⑤</p> <p>建築を学んでみたいということ、それから新しい環境に飛び込んで何か将来に種まきができたらという思いから留学を決意しましたが、その目的は十分に果たすことができたと思います。前者に関しては、1年間で建築学部での修学だけではなく、実際にみてみたい建築に足を運び、スケッチをしたり、図面と写真だけでは感じることのできない建築の空間的な心地よさであったり、美しさに触れることができ、建築設計においてとてもインスパイアされる部分が多くありました。また、留学前は将来やりたい仕事もなく今後の進路に悩んでいましたが、留学先で自分の追求したいことに出会い、今後のロードマップが見えたことはかなり実りあることでした。後者に関しては、日本では出会えなかったであろう世界中の人達と交流していくなかで、自分が日本人であるということを再認識でき、またヨーロッパのより親密なコミュニケーションの取り方を友人から多く学びました。また、相手に伝えたいことに対して自分の英語力が追いついてこないとき悔しいなと感じることもありましたが、1年を通して留学前より英語力も向上したかなと感じます。</p> |
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するK I T げんき会会員への謝辞</p> | <p>この度は、交換留学の助成金にご採択いただき、深く御礼申し上げます。今年2月下旬から1年間に渡るクラクフ工業大学での留学生活において、この度のご支援は経済的な側面からくる精神的な不安を軽減し、勉学に集中する大きな助けになりました。皆様の支えのおかげで、自分自身が良い環境に身を置いて大学生活を送ることが出来ていることを忘れず、留学での経験や学びで身につけた知識や技術を今後の社会で貢献できるよう今できることを一つずつ積み重ねていこうと思います。</p> |

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費の助成（フィンランド）

2 事業概要

(1) 留学先

オウル総合科学大学（フィンランド）

(2) 留学期間

令和5年8月22日（火）～令和5年12月22日（金）

(3) 助成金額

23,000円

※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給する。

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科 情報デザインコミュニケーションコース・3年 |
| 氏名 | 東 大地 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | ① 現在、オウル総合科学大学での交換留学を経験中であり、この貴重な機会を通じてさまざまな学びを模索しています。異なる専門分野の授業を受講することで、幅広い知識を獲得すると同時に、新しい視点やアプローチ方法にも触れることができています。また、地元の文化や人々との交流を通じて、異なる背景を持つ人々との対話や協働の重要性について深く理解を深めています。留学期間が進行中であり、引き続き新たな発見や学びを積み重ねることを楽しみにしています。例えば、フィンランド人とのサウナ文化を体験したり、他国の留学生と共同でプロジェクトに取り組んだりする中で、異なる視点からの学びや新たな友人とのつながりを築くことができました。このような交流を通じて、留学期間を通しての実りある経験を積むことができています。これからも、留学プログラムを通じて得られる貴重な経験を最大限に活かし、成長し続ける努 |

| | |
|---|---|
| | <p>力を惜しまず取り組んでいきます。</p> <p>②③</p> <p>オウル総合科学大学での留学期間が終了し、振り返るとフィンランドの現地の人々や他国からの留学生との交流は、留学経験の中で特に貴重なものでした。地元の学生との交流では、フィンランド文化や日常生活について深く学び、彼らとの友情や相互理解を築くことができました。彼らと共に過ごした時間は、異文化理解を深めるだけでなく、地域社会における異なる視点や価値観を理解する機会となりました。また、他国からの留学生との交流では、言語や文化の違いを超えて共通の興味や挑戦に取り組むことができ、お互いに刺激し合いながら成長することができました。共同でプロジェクトに取り組んだり、地元のイベントに参加したりする中で、異なる背景を持つ仲間との協働の意義を実感しました。これらの交流を通じて、異文化理解やコミュニケーション能力が飛躍的に向上し、自己成長に大きな影響を与えました。留学期間が終了した今でも、これらの貴重な経験を胸に刻み、国際社会での活躍に繋げていきたいと思いをします。</p> |
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p> | <p>KIT げんき会の皆様へ。貴重な助成をいただき、留学生生活を支えていただきありがとうございました。あなた方の温かいサポートと励ましによって、私の留学経験は充実したものとなりました。これからも、この経験を活かし、社会に貢献することを目指して精進していきます。改めて、心からの感謝を申し上げます。</p> |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費助成（フィンランド）

2 事業概要

(1) 留学先

オウル総合科学大学（フィンランド）

(2) 留学期間

令和5年8月24日（木）～令和6年5月3日（金）

(3) 助成対象・金額

49,000円

※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給する。

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|---|
| 所属学科・学年 | 地球環境工学科先端材料物質工学コース・三年 |
| 氏名 | 後藤 裕弥 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | ① 今年の八月から3か月程度機械工学について英語で学んでいます。主に機械工学入門と工場での生産計画法、ロボットアームの操作方法、異文化入門、工学者のための英語の授業をとっており、グループワークや実習を通して知識を深めています。私がとった授業は毎回のようにグループで話し合い、数か月にわたり一つのプレゼンを用意し、その発表で成績が決まるものがほとんどでした。北見工大ではあまり経験してこなかったことで、はじめはチームメイトとうまく関係を築けず苦労しましたが、徐々に自分から積極的に話せるようになり、社会に出てからチームの一員として活躍するための良い練習になっていると感じています。また、言語が母国語でなくてもきちんと意見を伝えられるようになってきており、留学前に感じていた英語だけで会話をする怖さがなくなっていて、今回の留学がとても良い経験になっていると実感しています。ただ、反省点として私の話している英語が単純なパターンで表現が少ないため、もっといろいろな表現を覚えて積極的に使っていきたいで |

す。

②

今年の八月から3か月程度機械工学について英語で学んでいます。主に機械工学入門と工場での生産計画法、ロボットアームの操作方法、異文化入門、工学者のための英語の授業をとっており、グループワークや実習を通して知識を深めています。そのうち、異文化入門の授業について報告させて下さい。その授業では7割がフィンランド出身の学生、3割が留学生で構成されており、主に2回のグループでのプレゼンテーションと1回の外部のパートナー大学（スイス）によるスイスの文化紹介と交換留学の宣伝が行われました。プレゼンテーションのグループワークのテーマは「自分の国の文化紹介」「先生が与えたテーマにおける二国間の違い」でした。一つ目のテーマでは初めての語でのプレゼンテーションで緊張してあまり満足のいく発表ができませんでした。二つ目のテーマでは、インドネシアとフランスにおける”Neutral vs. Emotional””Social Hierarchy”の文化的違いについて発表しました。皆とてもモチベーションが高く、私のグループもグループメンバーと協力しながら文章、図・グラフだけでなくショートビデオ、クイズをプレゼンテーションに取り入れました。特に私のオリジナルアイデアでクイズコーナーを強化した結果、先生がその点について特に褒めてくださりやりがいを感じることができました。この経験から、プレゼンテーションはビデオやクイズを入れることでより魅力的になることを学びました。この経験を卒論作成時にも生かしたいです。

③

今年の八月から十二月まで機械工学について学び終え、今一月から Energy Technology Project という長期グループワークに取り組んでいます。この授業では学生が自ら授業に協力してくれる企業にアプローチし、企業が抱えている問題に四か月かけて取り組むというもので、現在 Warming Surfaces Company とともに新製品の安全基準を測り改善案を提案するプロジェクトに参加しています。この企業を含めた Print 24 という企業イベントにもスタッフとして参加させていただき、ヨーロッパで働くとはどういう感じか、また日本との考え方の違いについて学べとても有意義な時間を過ごせました。企業の方々とも問題なくコミュニケーションがとれるほど英語力がついてきたので、これから今のプロジェクトの成果を発表するプレゼンテーションと報告書に尽力します。

| | |
|---|--|
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたこと に対するKITげんき 会会員への謝辞</p> | <p>この度、本助成を受ける機会を与えていただき、本当にありがとうございます。私自身多くの学友や先生方、家族、大学スタッフに支えられ、今まで頑張って勉強してきた英語を、世界で通用するよう実践で生かしたいという思いから留学生活を楽しませていただいています。もう留学生活が終盤にさしかかってきました。これまで元気に留学生活を送れたのは、KITげんき会会員様を含め多くの方々の応援のおかげです。より一層自己研鑽に努めます。</p> |
|---|--|

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費助成（フィンランド）

2 事業概要

(1) 留学先

オウル総合科学大学（フィンランド）

(2) 留学期間

令和5年8月24日（木）～令和6年5月3日（金）

(3) 助成対象・金額

49,000円

※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給する。

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|---|
| 所属学科・学年 | 地球環境工学科 エネルギー総合工学コース・3年 |
| 氏名 | 浦野 和輝 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | <p>①</p> <p>留学生活は私にとって単なる学業だけでなく、異なる国の人々との共同作業、クラブ活動、など多岐にわたる経験をもたらしました。</p> <p>まず、異なる文化の人々と協力する授業では言語の違いだけでなく、異なる価値観や仕事のアプローチに触れる機会を提供しました。これにより、柔軟性や協力の重要性を理解し、異文化コミュニケーションのスキルを向上させました。</p> <p>次に、クラブ活動では地元の文化に触れ、留学生生活をより豊かにしました。地元のクラブへの参加を通じて、地元の人々の生活や日常に触れ、深い友情を築くことができました。これにより、異なる環境での人間関係構築のスキルや異文化理解が深まりました。</p> <p>さらに、専門的な分野においては産業用ロボットやシミュレーションソフトの使用を通じて実践的な学びを得ました。理論だけでなく、実際のプロジェクトに携わりながら問題解決や技術向上に取り組むことで、専門知識だけでなく、実践的なスキルも身につけました。</p> |

最後に、英語力の向上も感じました。日々の生活や授業を通じて、日常会話から専門的な用語まで、幅広い英語表現の機会が増えました。これにより日常会話や、ビジネス英語スキルの向上が実感できました。

②

留学生活が始まってから早くも4カ月が経ち、新しい環境に慣れる日々を過ごしています。特に最近では冬が到来し、寒さと北欧特有の短い日照時間が見られるようになる中での生活が新たな挑戦となっています。北見での生活という寒冷地での経験が役立ちつつも寒さは体感的にフィンランドの方が厳しいものであると感じます。

また、最近では留学生の友達が増えてきています。現在は最終課題やテストが行われる時期であり、友達と協力しながら勉強することで、新たな視点を得たり、モチベーションを高めたりすることができています。

留学生活は非常に難しいと感じる事もありますが、これらを成長の糧に引き続き留学生活を楽しんでいきたいと思えます。

③

帰国まであと2か月弱という事で、留学も残り4分の1というところになりました。

現在はフィンランド人中心のグループで地元の企業と共同でフィンランドの暖房システムについての研究を行っています。フィンランドでは町の中心の巨大なボイラーが各家庭に温水を分配するという暖房システムを採用しています。そのボイラーにおいて最も環境に優しく経済的な燃料を探るのが現在の活動内容となっています。

活動内容はおそらく企業インターンに極めて近いものと言えます。

地元企業との共同作業により現地の人達の働き方等、座学や部活からだけでは得られないまた別の視点からの異文化交流をすることが出来ています。

グループメンバーが全員フィンランド人という事で最初はかなり戸惑いましたが、メンバー全員が非常に親切であり、円滑にプロジェクトを進める事が出来ている現状に非常に満足しています。

この調子で帰国まで学びを深めていきたいと思えます。

| | |
|---|---|
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p> | <p>海外留学という素晴らしい機会をいただき、心より感謝を申し上げます。KITげんき会会員様からの多岐にわたる支援により、留学生活において充実した経験を積むことがさせて頂けることに深く感謝申し上げます。</p> <p>留学生活は私にとって非常に有益で、様々な文化や価値観と触れ合い、成長の機会を得ました。KITげんき会会員様のサポートもまた、大きな支えとなりました。海外留学は金銭的負担が大きく、経済的な支援は非常に重要なものとなりました。</p> <p>海外留学の経験を通じて、私は将来、これまでの学びや経験を社会の発展に貢献できる形で活かしたいと考えています。KITげんき会からいただいたサポートが、私の人生における礎となり、社会に対する責任感をより一層強めました。今後は、学んだことを実践し、社会に寄与するために精進してまいります。</p> <p>これからの私の頑張りについては、KITげんき会会員様の温かい見守りが非常に心強いものとなることでしょうか。皆様の期待に添えるよう、より多くの学びを留学生活で得てきたいと思っております。</p> <p>最後に、KITげんき会様の今後のご活躍を心よりお祈り申し上げます。素晴らしい支援を提供していただき、誠にありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。</p> |
|---|---|

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費助成（フィンランド）

2 事業概要

(1) 研修先

ヴァーサ工業大学（フィンランド）

(2) 研修期間

令和5年8月28日（月）～令和5年12月15日（金）

(3) 助成対象・金額

23,000円

※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給する。

3 助成対象者報告

| | |
|--|---|
| 所属学科・学年 | 地域未来デザイン工学科 情報デザイン・コミュニケーション工学コース・3年 |
| 氏名 | 河本麻希 |
| 報告 ※本研修により 得た成果について 400字程度 で記入 | <p>①</p> <p>自身の知る人間が一人も居ない新しい環境で新たに生活をスタートさせることは困難を極めました。しかし同時に、価値観や自己分析など様々な発見・気づきをする機会となり、とても充実した有意義な時間を過ごすことが出来ました。</p> <p>私はあまり英語でのコミュニケーションを行ったことが無かったため、友達作りや学校でのガイダンス・授業など様々な場面で言語の壁にぶつかり、苦戦しました。</p> <p>ですが、拙い英語なりに勇気を出して積極的に会話を切り出すことで少しずつですが交流を深めていくことができました。日本のアニメは北欧でも有名だったため、会話の糸口として大変助けられました。</p> <p>友達作りにはかなり時間がかかりましたが、これ程色々な考え方や価値観、バックグラウンドを持つ人達と交流する機会は日本では得難いものだったと思います。</p> <p>②③</p> |

| | |
|---|---|
| | <p>グループワークや学校開催のイベント、パーティーなどにできる限り参加し沢山の国籍や性格の人と積極的にかかわることで、少しずつではありますが英語でのコミュニケーション能力を向上させていくことができました。最終的に、友達との会話をかなり自然な形で行うことができるようになりました。</p> <p>日本へ帰る途中のトランジットでは、他の国からフィンランドに来ていた留学生や事業の為に日本に向かっている社会人の方など、様々な方と楽しく会話をすることができました。</p> <p>また、牛肉の販売量や電気自動車の普及等、日本とヨーロッパの環境問題への意識の違いについても気づくことができました。</p> <p>特に電気自動車は日本での普及率はかなり低い物なので、これからの需要が高まるのではないかと推測でき、車業界への就職を考えている私にとっては大きなヒントになりました。</p> |
| <p>謝 辞 ※本助成を受けたことに対するKITげんき会 会員への謝辞</p> | <p>円安・ユーロ高が加速している中私が留学に行く事が出来たのは、助成をして下さった会員様方のお力添えいただいたおかげです。留学での経験は私にとって一生残るかけがえのないものです。心から感謝いたします。</p> |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 研究協力課

1 実施事業名

協定校へ留学する学生の生活費助成（ポーランド）

2 事業概要

(1) 研修先

クラクフ工業大学（ポーランド）

(2) 研修期間

令和5年10月1日（月）～令和6年2月25日（日）

(3) 助成対象・金額

28,000円

※報告書①提出後に半額を支給、報告書②提出後に残りの半額を支給する。

3 助成対象者報告

| | |
|--------------------------------|---|
| 所属・学年 | 地域未来デザイン工学科地域マネジメントコース・3年 |
| 氏名 | 瀬戸川 舜 |
| 報告 ※本研修により得た成果について400字程度で記入 | ① 私は研修先の大学でコンピューターサイエンスを専攻しており、統計、データベース、R言語、ニューラルネットワーク、AIの5つの講義を受けています。なかでもデータベースで使うSQLや、R言語は北見工業大学でも講義になかったもので、知らない単語が多く存在するので、最初はかなり苦戦しました。また、統計とニューラルネットワークについては、個人的に勉強していたり、大学の講義でも触れたことがあったので、講義の最初の方はついていけましたが、内容がどんどん難しくなっているので、今ではついていくのに必死です。しかし、その分理解度が深まり、やりがいを感じています。また、留学したてと比べて、自身の英語力が向上したように感じます。今でも未だに苦戦してはいますが、留学初期と比べて、周りの留学生にも上達したといわれたり、個人としても最初に比べたら英語が聞き取れるようになったと感じるようになりました。 ② |

| | |
|---|--|
| | <p>クラクフ工業大学での留学を終え、無事帰国しました。私はこの半年、統計、データベース、R言語、ニューラルネットワーク、AIの5つの講義を受け、全ての単位を取得することができました。成績は科目によってまちまちですが、英語での講義で単位を落とすことなく留学を終えることができたことは自信になりました。また、ニューラルネットワークをはじめ、4年生次の研究にも関わる情報の基礎を全般的に学ぶことができたので、北見に帰り次第着手する予定の卒業論文にもこの半年で学んだ知識を活かしたいです。また、留学経験を報告会ですること、これから留学を希望している学生たちにも情報提供をしていきたいと考えています。最後に、私の英語力は未だ発展途上中です。これから勉強を継続し、最終的には大学院で国際論文を発表できるようになりたいと考えています。このような機会を設けてくださり、ありがとうございました。</p> <p>③</p> <p>まずは、無事に半年間の留学が終わり、北見に戻ることができたことを報告いたします。本当にありがとうございます。</p> <p>今回の留学ではポーランドのクラクフ工業大学でコンピューターサイエンスについて学び、英語力の向上に加え、4年生次に着手する研究の下地となる機械学習などの知識を吸収することができました。また、すべての講義で単位を取得することができたことは自信につながりました。</p> <p>私は統計、データベース、R言語、ニューラルネットワーク、AIの5つの講義を受けましたが、中でもニューラルネットワークの講義が一番収穫があったと感じています。機械学習の基本的な部分や考え方、プログラミング言語 Python の実装方法など、基礎的な事をとにかくこの半年間詰め込まれたので、自身の研究テーマでもある、銀河の画像分析においても十分に活用できる知識を得られることができました。</p> |
| <p>謝 辞</p> <p>※本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞</p> | <p>ポーランドでの生活は北見のときと比べても消費金額には大きな差はありませんが、アルバイトをしなくなった分、少し節約気味な生活が続いているので、本助成を受けられることはとてもうれしい限りです。</p> <p>英語で自身の研究分野の知識を学ぶ、これはすごく挑戦的で、私は留学という機会がなければできていなかったと思います。このような貴重な経験を与えてくれたことに感謝します。ありがとうございました。</p> |

1 実施事業名

インターナショナルCアワー開催の助成

2 事業の概要

留学生が本学の学生・教職員のみならず市民との交流の場を持つことにより、国際交流の促進を図る。

様々なプログラムを通して、留学生が日本文化への理解を深めることや、日本人参加者が異文化について学ぶことを目的としている。

3 開催報告

第1回 居合道（2023年4月21日開催）

第2回 カーリング（2023年4月26日開催）

第3回 新入生歓迎会（2023年4月27日開催）

第4回 台湾語学研修報告（2023年4月28日開催）

第5回 学生のうちにやるべきこと（2023年5月18日開催）

第6回 和菓子作り体験（2023年6月4日開催）

第7回 フィリピン英語研修報告&短期留学生の自国紹介（2023年6月9日開催）

第8回 世界のお茶を楽しもう！（2023年6月14日開催）

第9回 留学生の「お国紹介」ホンジュラス（2023年7月5日開催）

第10回 特定非営利活動法人 COCORO 会議×北見工大国際交流センター
(2023年7月8日開催)

第11回 ウクライナ人留学生の受け入れについて（2023年7月13日開催）

第12回 世界の音楽に触れてみよう！（2023年7月20日開催）

第13回 ハロウィン&新入生歓迎会（2023年10月31日開催）

第14回 居合道（2023年11月10日開催）

第15回 冬を感じさせるクラシック音楽に触れてみよう！（2023年12月13日開催）

第16回 新春邦楽 邦楽に触れてみよう！（2024年1月23日開催）

4 謝辞

(本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞を記入)

インターナショナルCアワーを開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、全16回を盛況のうちに終了することができました。

これも皆様のご支援あってのことと国際交流センター関係者一同、感謝いたしております。皆様からのご支援により、カーリング場使用料、食材、講師への謝金等を支出させていただきました。そのおかげで、留学生と市民、日本人学生を含めた交流を促進し、異文化理解を深めることができたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）の助成

2 事業の概要

外国人留学生と地域の各種団体等との国際交流の推進を図るため、留学生並びに教職員、北見市民等との留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を行う。

3 参加者の様子

令和6年2月15日（木）、本学コミュニケーションアトリウムにおいて、留学生交流イベント（留学生交流の夕べ）を開催しました。令和5年度末で就学を終える留学生等、約120人が参加しました。コロナ禍により開催が中断していましたが、今回、4年ぶりの開催となりました。

鈴木学長が冒頭、「言葉の壁や文化の違いで苦労したことがたくさんあったと思います。しかし、今まで大学や地域で経験し学んだことは、皆さんの貴重な財産です。」と挨拶し、留学生の努力をたたえました。その後、北見ロータリークラブの田巻順子会長から乾杯の音頭があり、参加者は交流を深めました。途中、留学生によるアトラクションが行われ、インドネシアの留学生による居合道、台湾の留学生による歌、モンゴルの留学生による民族舞踊が披露され、拍手と喝采を浴びていました。

夕べに参加した留学生は、いつもお世話になっている方々との思い出話や記念撮影に花を咲かせ、和やかな雰囲気の中に閉会となりました。





4 謝辞

(本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞を記入)

留学生交流イベント(留学生交流の夕べ)を開催するにあたり、ご支援いただき、誠にありがとうございました。このように盛大な交流会ができたのも、ひとえに皆様のおかげと国際交流センター関係者一同、心より感謝申し上げます。

皆様からのご支援により、食事を用意させていただきました。また、当日配付しました冊子の作成にも役立てさせていただきました。おかげをもちまして、参加者全員にとって心に残る交流会を提供できたと思っております。

今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

就職支援助成（地元企業合同セミナー）

2 事業の概要

人材確保が課題となっているオホーツク地域の企業と、本学学生や地元専門学校生等の出逢いの場を提供し、人材を確保するとともに地域経済の活性化を目指す。

3 参加者の様子

○オホーツク合同企業セミナー

令和6年1月26日（金） 本学第二体育館

本学、オホーツク商工会議所協議会、北見市（北見市若者就活応援センター）、そしてKITげんき会との共催で、オホーツク合同企業セミナーを開催しました。オホーツクの企業・団体が一同に机を並べ、参加学生が興味のある企業へ立ち寄るブース形式で実施し、北見市を含む近隣4市町から45社（団体）、2025年3月卒業・修了予定の本学学生や専門学校生ら約20名が参加しました。

参加した学生からは「様々な企業の方の話が聞けて良かった」、「今後の就職活動にも活かせる良い機会でした」など本セミナーが大変参考になったとの声がありました。



4 謝辞

オホーツク合同企業セミナーを共催で開催していただき、心から感謝申し上げます。皆様からの御協力により、学生と地元企業との出逢いの場を提供することができました。

これらの事業を推進することにより、本学とオホーツク管内企業との相互理解及び今後オホーツク地域への人材創出に繋げていければと思っておりますので、今後とも、御協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

1 実施事業名

地域貢献活動、ボランティア活動等を行った学生表彰の助成

2 事業の概要

地域貢献活動等に積極的に参加した本学に在学する学生及び本学学生が組織する団体を表彰することで、学生生活の充実と地域の一層の活性化を図ることを目的とする。

3 表彰団体

北見工業大学 宇宙開発プロジェクト Nociws（ノチウス）

4 表彰理由

アメリカで行われた人工衛星の打ち上げ競技会 ARLISS (A Rocket Launch for International Student Satellites) 2023 に出場し、初出場ながら打ち上げ全 19 チーム中 7 位の成績を収めた。

5 謝辞

学生表彰へのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

皆さまからのご支援により、活動で使用する 3D プリンター及びフィラメントを購入することができました。立体物の印刷の速さ・精度の良さに部員一同感激しており、ハイブリッドロケット製作活動の幅が広がることを期待されます。

今後とも、ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。



購入した 3D プリンター（左）と試運転で作成したモデル（右）

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 情報図書課

1 実施事業名

学生向け電子ブック購入の助成

2 事業の概要

学生の利用が見込まれる図書を情報図書課内で選定し、自宅や研究室など図書館に来館せずアクセスできるよう、電子版を購入する。

3 購入図書一覧

別紙のとおり

4 謝辞

(本助成を受けたことに対するKITげんき会会員への謝辞を記入)

この度は皆様からの御厚志により、学生向け電子ブックの充実を図ることができました。今回、就職活動、プレゼン方法、留学に関する図書など様々なジャンルの電子ブックを購入したことで、自宅や研究室などからいつでも活用することができ、本学学生への教育や学習支援に有用となっております。この場をお借りして感謝を申し上げます。

北見工業大学では学生のみならず、地域住民の方にも快適に図書館を御利用いただけるよう努めております。今後もより一層開かれた大学作りを目指し、地域の皆様に必要とされる図書館となるよう努力してまいりますので、今後とも御支援のほどよろしく願いいたします。

令和5年度購入 電子ブック一覧

| 番号 | 書名 | 数量 | 金額(税込) |
|----|--|----|---------|
| 1 | 岩波文庫新書セット2023 (自由選書セット50点) | 1 | 42,350 |
| 2 | 就職四季報2025年版5冊セット | 1 | 28,870 |
| 3 | TOEIC(R) L&Rテスト 英文法出るところだけ! | 1 | 4,719 |
| 4 | TOEIC® L&R TEST 英文法スピードマスター 入門編: 一番よくわかる! 600点突破できる! | 1 | 3,388 |
| 5 | TOEIC L&Rテスト 最新学習法&完全模試 | 1 | 1,936 |
| 6 | TOEIC(R) L&Rテスト 全パート完全攻略問題集 | 1 | 8,712 |
| 7 | #卒論修論一口指南 | 1 | 4,840 |
| 8 | 理系学生・エンジニアのためのやり直し英語: $E=mc^2$ で身につける4技能 | 1 | 7,032 |
| 9 | 英語で説明・プレゼン・発信ができるようになる5つのルーティン | 1 | 6,534 |
| 10 | 公務員の仕事入門ブック: 国家総合職・一般職・専門職/地方上級/市役所上級等 6年度試験対応 | 1 | 4,235 |
| 11 | 公務員試験 学習スタートブック 6年度試験対応 | 1 | 4,235 |
| 12 | やさしい・かんたん ビジネスマナー | 1 | 2,940 |
| 13 | サクサク書ける! 良いレポート・卒論: プロの情報リサーチ術 | 1 | 2,904 |
| 14 | ドローン操縦士免許 完全合格テキスト: 学科試験+実地試験対応 | 1 | 10,890 |
| 15 | JLPT日本語能力試験N1 完全模試SUCCESS | 1 | 4,840 |
| 16 | JLPT日本語能力試験N2 完全模試SUCCESS | 1 | 4,840 |
| 17 | JLPT日本語能力試験N3 完全模試SUCCESS | 1 | 4,840 |
| 18 | 日本語能力試験 N5直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法 | 1 | 2,904 |
| 19 | 日本語能力試験 N4直前対策ドリル&模試 文字・語彙・文法 | 1 | 2,904 |
| 20 | 日本語教育能力検定試験 対策問題集 | 1 | 8,349 |
| 21 | 国際学会English スピーキング・エクササイズ 口演・発表・応答 音声DL付 | 1 | 10,890 |
| 22 | ストーリーで惹きつける科学プレゼンテーション法 | 1 | 13,068 |
| 23 | 日本三百名山 山あるきガイド 上 | 1 | 6,598 |
| 24 | 海外大学院に「オンライン留学」しよう | 1 | 6,534 |
| | 合計 | 24 | 199,352 |

令和5年度 KITげんき会事業実施報告書

担当課名： 企画総務課

1 実施事業名

女満別空港広告看板掲出料の助成

2 事業の概要

女満別空港2階 出発ロビーへの広告看板掲出

3 広告掲出状況

搭乗手続き待ちや見送り等の空港利用者に向けた広報を目的として、平成17年4月から継続して掲出しているものです。令和4年4月からは、北海道国立大学機構の設置に伴い、下記のとおりデザインを変更し、掲出しています。



4 謝辞

本事業に関しては、平成17年度から長きにわたり継続してご支援をいただき心から感謝申し上げます。

今後も地域に輝き、地域に貢献する大学として邁進していく所存ですので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

1 実施事業名

ぼんちまつり参加者への助成

2 事業の概要

北見市恒例の夏祭りイベント「北見ぼんちまつり舞踊パレード」において、本学の存在をアピールするとともに、地域の活性化に貢献することを目的として、学生及び教職員によるチームでの参加準備を進めました。

しかし、当日は天候不良により舞踊パレードが中止されたため、パレード用に制作した本学オリジナル T シャツを参加者に配布するのみとなりました。

3 参加者の様子



パレードに向けて踊りを練習する学生と教職員の様子

4 謝辞

本事業にご支援をいただき心から感謝申し上げます。

今回は開催が中止となってしまいましたが、地域との交流事業には積極的に参加し、学生の元気で地域を盛り上げていきたいと考えておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

北見工業大学後援会「KITIげんき会」
令和5年度決算書

収入の部

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|----------|-----------|------------------|---------------------------|
| 会 費 | 2,050,000 | 1,852,890 | 個人会員(25件) 93,000 円 |
| | | | 法人会員(104件) 1,759,890 円 |
| 寄 附 金 等 | 300,000 | 519,000 | 同窓会会員からの寄附(47件) 519,000 円 |
| 雑 収 入 | 500 | 3,869 | 預金利息 残高証明書発行手数料の振替 |
| | | (内訳) 19 3,850 | |
| 前年度からの繰越 | 3,090,774 | 3,090,774 | |
| 合 計 | 5,441,274 | 5,466,533 | |

支出の部

| 項 目 | 予 算 | 決 算 | 備 考 |
|--------------------|----------------|----------------|---|
| 後援会運営費 | 333,900 | 203,639 | 円 |
| 通 信 費 | (内訳) 87,000 | (内訳) 48,304 | 印刷物郵送料、返信用葉書 ほか 48,304 ・総会開催通知及び 会費納入依頼送料:41,815円 ・総会返信用葉書:6,489円 |
| 事 務 費 | 89,850 | 28,285 | 事務諸雑費 28,285 ・残高証明書発行手数料の合計:3,850円 振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料の合計:2,750円 ・会費納入に係る振込手数料の合計:21,685円 |
| 印 刷 費 | 157,050 | 127,050 | ・振込依頼書 127,050 |
| 大学援助費 | 3,096,500 | 2,317,232 | 円 |
| 学生に対する支援 | (内訳) 2,288,000 | (内訳) 1,541,732 | 語学研修プログラム参加旅費の助成 (ニュージーランド 50,000円×2人、 台湾 50,000円×8人、カナダ 80,000円×1人) 580,000 協定校へ留学する学生の生活費の助成 240,000 留学生派遣の助成 (地域の各種団体等への留学生の派遣) 0 インターナショナルCアワー開催の助成 118,000 留学生交流イベントの助成 184,380 就職支援助成 (オホーツク合同企業セミナー) 220,000 学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) ※令和5年度は受賞団体があったが、副賞は令 和6年度に入ってから購入したため計上なし 0 学生向け電子ブック購入の助成 199,352 |
| 大学広報等への支援 | 627,000 | 627,000 | 女満別空港広告看板掲出料の助成 627,000 |
| 北見ぼんちまつり 参加への支援 | 181,500 | 148,500 | 北見ぼんちまつり参加者への助成 148,500 |
| 予 備 費 | 2,010,874 | 0 | 円 |
| 支 出 計 | | 2,520,871 | 円 |
| 次年度繰越金 | | 2,945,662 | 円 |
| 合 計 | 5,441,274 | 5,466,533 | 円 |

監 査 報 告 書

本会規約第6条第5項に基づき、令和5年度北見工業大学後援会
収支簿及び預金通帳類に関する監査を行った結果、適正に処理され
ていると認めましたので報告いたします。

令和6年6月18日

監 事

山澤 賢之郎 

監 事

有田 敏彦 

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和6年度事業計画書（案）

| 事 業 | 摘 要 |
|-------------------|---|
| 1 会 議 | |
| 1) 総 会 | 年 1 回開催 |
| 2 支援事業 | |
| 1) 学生に対する支援 | 海外研修プログラム参加旅費の助成 【派遣先（案）】 ・北米×5人 ・アジア、大洋州×12人 ※派遣先は実施時の情勢により決定 協定校へ留学する学生の生活費の助成 短期交流研修（派遣）の助成 留学生派遣の助成 （地域の各種団体等への留学生の派遣） インターナショナルCアワー開催の助成 留学生交流イベントの助成 就職支援助成（オホーツク合同企業セミナー） 学生表彰 学生向け電子ブック購入の助成 |
| 2) 大学広報等への支援 | 女満別空港広告看板掲出料の助成 |
| 3) 北見ぼんちまつり参加への支援 | 北見ぼんちまつりの参加者への助成 |

北見工業大学後援会「KITげんき会」
令和6年度予算書(案)

収入の部

| 項 目 | 予 算 | 備 考 |
|----------|--------------------|-----------------------------------|
| 会 費 | 1,790,000 円 | 個人会員(30口 × 3,000円) 90,000 円 |
| | | 法人会員(170口 × 10,000円) 1,700,000 |
| 寄 附 金 等 | 500,000 円 | 同窓会会員からの寄附(500口 × 1,000円) 500,000 |
| 雑 収 入 | 500 円 | 預金利息等 500 |
| 前年度からの繰越 | 2,945,662 円 | |
| 合 計 | 5,236,162 円 | |

支出の部

| 項 目 | 予 算 | 備 考 |
|----------------|-----------------------|--|
| 後 援 会 運 営 費 | 207,850 円 | 円 |
| 通 信 費 | (内訳) 87,000 | 87,000 印刷物郵送料、返信用葉書 ほか ・総会開催通知発送料:30,000円 ・総会出欠返信用葉書:7,000円 ・会費納入依頼発送料:50,000円 |
| 事 務 費 | 90,850 | 90,850 事務諸雑費 ・残高証明書発行手数料:4,000円 振込手数料 ・各支援事業に係る振込手数料:3,000円 ・会費納入に係る振込手数料:25,000円 |
| 印 刷 費 | 30,000 | 30,000 KITげんき会会員銘板更新費用 ・プレート作成 8,800円×6枚=52,800円 ・諸経費 6,050円 ・KITげんき会ニュースレター印刷費:30,000円 |
| 大 学 援 助 費 | 3,538,500 円 | |
| 学生に対する支援 | (内訳) 2,730,000 | 1,000,000 海外研修プログラム参加旅費の助成 【派遣先(案)】 80,000円×5人=400,000円(北米) 50,000円×12人=600,000円(アジア、大洋州) ※派遣先は変更となる可能性あり。 協定校へ留学する学生の生活費の助成 240,000 短期交流研修(派遣)の助成(隔年) 500,000 留学生派遣の助成 (地域の各種団体等への留学生の派遣) 20,000 インターナショナルCアワー開催の助成 200,000 留学生交流イベントの助成 240,000 就職支援助成(オホーツク合同企業セミナー) 300,000 学生表彰 (地域貢献活動、ボランティア活動等への表彰) 30,000 学生向け電子ブック購入の助成 200,000 |
| 大学広報等への支援 | 627,000 | 627,000 女満別空港広告看板掲出料の助成 |
| 北見ぼんちまつり参加への支援 | 181,500 | 181,500 北見ぼんちまつり参加者への助成 |
| 予 備 費 | 1,489,812 円 | |
| 合 計 | 5,236,162 円 | |

北見工業大学後援会「KITげんき会」規約

(名 称)

第1条 本会は、北見工業大学後援会「KITげんき会」と称する。

(目 的)

第2条 本会は、地域と同窓会が一体となって、北見工業大学の発展及び学生の生活向上のための援助等に協力することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 一 北見工業大学の発展のための援助
- 二 北見工業大学の学生の生活向上等のための援助
- 三 会費、寄付金品の受理及び処理
- 四 その他必要な事項

(組 織)

第4条 本会は、次に掲げる会員をもって組織する。

- 一 個人会員
- 二 法人会員

(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 一 会 長 1人
- 二 副 会 長 若干人
- 三 常務理事 1人
- 四 理 事 若干人
- 五 監 事 2人

2 役員は、総会において選任し、又は解任する。

(職 務)

第6条 会長は、本会を代表し、会務を統括するとともに会議を招集して、その議長となる。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3 常務理事は、会計及び本会の運営上重要な事項を処理する。
- 4 理事は、本会の運営上必要な事項を審議する。
- 5 監事は、本会の会計を監査する。

(任 期)

第7条 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。

2 役員に欠員が生じた場合は、必要に応じて補充する。但し、補充された役員任期は、前任者の残任期間とする。

(総会及び役員会)

第8条 総会及び役員会は、年1回開催しなければならない。

但し、必要に応じて会長が臨時に召集することができる。

- 2 総会に次の事項を付議する。
 - 一 役員を選任、解任

- 二 事業計画及び事業報告
- 三 予算及び決算
- 四 規約の制定及び改廃
- 五 その他本会の運営に必要な事項

- 3 役員会は、会長、副会長、常務理事、理事をもって構成する。
- 4 役員会は、本会の事業運営及び総会に付議すべき事項を審議するものとする。
- 5 総会及び役員会の議長は、会長がその任にあたる。
- 6 総会及び役員会の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(顧問)

第9条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、役員会の議を経て、会長が委嘱する。

(事務局)

第10条 本会の事務を処理するため、事務局を北見市公園町165番地北見工業大学内に置く。

- 2 事務局には、次の職員を置く。

- 一 事務局長
- 二 事務局員

- 3 事務局長は、常務理事の職務を補佐することとし、会長が北見工業大学の教職員の中から委嘱する。

- 4 事務局員は、会長が委嘱する。

(会計)

第11条 本会の目的の達成及び運営に資する資金は、会員の会費、寄付金等をもって充てる。

- 2 会員の会費は、次に掲げるとおりとし、毎年、定められた時期に納入する。

- 一 個人会員 一口 3,000円
- 二 法人会員 一口 10,000円

- 3 本会の会計は、後援会運営費と大学援助費に区分して経理する。

- 4 後援会運営費は、後援会運営上必要な経費をいう。

- 5 大学援助費は、学術振興、国際交流、学生の生活向上等に必要な経費をいう。

(会計年度)

第12条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(雑則)

第13条 この規約に定めるもののほか、本会に関し必要な事項は、役員会が別に定める。

附 則

- 1. この規約は、平成17年11月30日から施行する。
- 2. 初年度の会計年度は設立総会日より平成18年3月31日までとする。
- 3. 初年度の役員任期は設立総会日(平成17年11月30日)より平成20年3月31日までとする。

令和5年度KITげんき会 法人会員名簿

(50音順 敬称略)

| |
|-----------------|
| 赤坂木材株式会社 |
| 株式会社あかつき |
| 有限会社旭防電 |
| 網走信用金庫 |
| 天内工業株式会社 |
| 株式会社天内工務店 |
| 五十嵐建設株式会社 |
| 池田煖房工業株式会社 |
| 株式会社イズム・グリーン |
| イト電商事株式会社 |
| 稲村電設工事株式会社 |
| NHK北見放送局 |
| 遠軽信用金庫 |
| 株式会社遠藤 |
| 医療法人社団北星会 大内医院 |
| 大槻理化学株式会社 |
| 岡村建設株式会社 |
| 岡本建設株式会社 |
| オホーツク技術士委員会 |
| 株式会社オホーツク大地 |
| オホーツクビール株式会社 |
| 株式会社海田鋼材 |
| 鐘ヶ江建設株式会社 |
| 株式会社菅野組 |
| 一般社団法人北見医師会 |
| 北見管工事事業協同組合 |
| 北見金融協会 |
| 北見建設業協会 |
| 北見工業団地会 |
| 北見市観光協会 |
| 北見市商店街振興組合連合会 |
| 北見市役所 部課長会 |
| 北見商工会議所 |
| 北見信用金庫 |
| 北見測量設計協会 |
| 北見地方生コンクリート協同組合 |
| 北見通運株式会社 |
| 北見鉄工協同組合 |
| 北見土木技術協会 |
| 北海道北見バス株式会社 |

| |
|---------------------|
| 株式会社 北見ハッカ通商 |
| 北見物産協会 |
| 金星北見ハイヤー株式会社 |
| 株式会社 倉本鉄工所 |
| 株式会社 グリーンプ北見 |
| 桑原電工株式会社 |
| 桑原電装株式会社 |
| 小西工業株式会社 |
| 小林株式会社 |
| 株式会社小林印刷 |
| 有限会社小林 |
| 株式会社小柳中央堂 |
| 株式会社斉藤商店 |
| 株式会社坂口精肉店 |
| 佐藤電気株式会社 |
| 株式会社サン園芸 |
| 株式会社システムサプライ |
| 株式会社ジャパンテクニカルソフトウェア |
| 財団法人消防試験研究センター |
| 株式会社ダイイチ |
| 大幸建設株式会社 |
| 谷口電工株式会社 |
| 株式会社田巻美石園 |
| 株式会社つうけん |
| 有限会社ティーエム商事 |
| 株式会社電建 |
| 東邦コンサルタント株式会社 |
| 東宝ビル株式会社 |
| 株式会社中神土木設計事務所 |
| 永田製飴株式会社 |
| 株式会社中村商会 |
| 株式会社成中クリーニング |
| 日東建設株式会社 |
| 一般社団法人日本自動車販売協会連合会 |
| 株式会社林鉄工 |
| 株式会社バル設計事務所 |
| 東北海道いすゞ自動車株式会社 |
| 光化成株式会社 |
| 有限会社フジサワ |
| 株式会社舟山組 |

| |
|---------------------|
| 株式会社北辰工業 |
| 北辰土建株式会社 |
| 北成建設株式会社 |
| 北東電気株式会社 |
| 株式会社北洋銀行 北見中央支店 |
| 北洋建設株式会社 |
| 北海電建株式会社 |
| 北海道ガス株式会社 |
| 北海道銀行 |
| 北海道獣医師会 オホーツク支部 |
| 北海道新聞 北見支社 |
| 北海道中小企業家同友会 オホーツク支部 |
| 北海道溶接協会北見支部 |
| 北海道糖業株式会社 |
| 株式会社ホテル黒部 |
| 益村測量設計株式会社 |
| 株式会社松田建業 |
| 有限会社松原新聞販売店 |
| 株式会社マルモ |
| 水元建設株式会社 |
| 村井小泉建設株式会社 |
| 株式会社山腰測量設計事務所 |
| 株式会社山下金物店 |
| 株式会社吉崎工業所 |

※令和5年度に会費を納入いただいた法人様を掲載しております。